



麗澤中学ゴルフ部女子 全国大会4連覇
日本女子オープンゴルフ選手権 長野未祈さん10位入賞

船渡御 全国同時開催 お久しぶり すき焼き大会

創立者廣池千九郎先生
生誕150年記念 麗澤会行事

▲ 廣池千九郎先生 生誕150年記念行事 第3弾
全国同時開催
おひさしぶり すき焼き大会



創立者廣池千九郎先生 生誕150年記念 麗澤会行事 第3弾

全国同時開催お久しぶりすき焼き大会

— 全国29支部約1000名の会員がすき焼き —

実行委員長 西村統行 (43高)



栃木県支部



北海道支部

青森県支部



福井県支部



柏会場



静岡県支部



群馬県支部



柏会場2



全国的に秋晴れの快晴であった11月3日(祝)、「創立者廣池千九郎先生生誕150年記念麗澤会行事」第3弾として、北は北海道から南は九州鹿児島まで全国29支部より約1000名の会員が参加して「全国同時開催お久しぶりすき焼き大会」が開催され大成功に終了しました(一部支部は、前週に実施)。

この大会は、廣池先生生誕150年を記念して、昭和24年第一回以来各母校の卒業会食の定番であった「すき焼き」を再現。卒業以来、お久しぶりの卒業生や若い世代に参加いただき、世代・出身校を超えた人と人の「つながり」を生み出し、麗澤の絆を深めることを目的として企画・開催。

そのため、今回は新たな試みを実施。1つめは、櫂りレー、船渡御、と続いた麗澤の絆を形にしようと「麗澤の絆 心の架け箸」とお箸を特別制作。大会参加者全員に記念品としてプレゼント。
2つめは、初めての全国一斉のインター



滋賀県支部



奈良県支部



新潟県支部



和歌山県支部



鳥取県 島根県支局合同



大阪府支部



京都府支部



山口県支部



中津会場



鹿児島支部



広島県支部



三重県支部



瑞浪会場



第一回すき焼参加の池田先生 特別ゲストの長野選手

ネット中継の実現。北海道、柏、畑毛、瑞浪、大阪、中津の主要6拠点の模様を中継でつなぎ、それ以外の支部へはYoutubeによる柏大会の模様を配信。テレビ中継さながらの同日、同時刻の大会中継を通じて、全国に広がる麗澤の絆、広がりを感じていただきました。

3つめは、名誉会長賞に加え、参加支部を中心に支部長賞として抽選会の賞品提供を依頼。麗澤OB・OGが経営するお店の商品や地域の名産品など、麗澤ならではの賞品をご提供いただき、インターネット中継を通じお箸の箸袋に記載された当選番号で全国一斉に大抽選会を実施しました。

参加者からは、「年齢も関係なく、初めて参加された方も和気あいあいの中、楽しくすき焼きをいただきました。麗澤のパワーを感じ、このつながりの凄さを感じました」「大成功でした。各会場が映るたびに食い入るように見て恩師、同級生を発見し懐かしく、また元気な姿を興奮しながら楽しませていただきました」など、大いに盛り上がりました。

船渡御

— 会員、家族で恩人・恩師に感謝の心 —

平成28年(2016)は、廣池学園創立者廣池千九郎先生(1866-1938)の生誕150年にあたります。麗澤会では、これを機に、麗澤会員が廣池千九郎先生を知り、麗澤の『絆』をより強めること。加えて、母校の将来の発展を願う、恩人・恩師に感謝することを若い世代へ、しっかりと価値を継承するために、麗澤会として「心の襷りレー」、「船渡御」、「全国同時開催お久しぶりすき焼き大会」の三記念行事を企画いたしました。

第1弾「心の襷りレー」は3月27日(日)に中津で開催された「廣池千九郎先生誕生記念の集い」の式典会場をスタートした襷りは北海道から九州まで全国26支部で「心の襷り」として受け継がれ、6月5日に柏で開催された「伝統の日・感謝の集い」の際に華々しくゴールしました(会報前号をご参照ください)。

第2弾は、7月25日(月)、日本三大祭「天神祭」の神事「船渡御」に廣池幹堂名誉会長ご夫妻をはじめ、各母校の恩師と当会が日ごろお世話になっている方々をお招きし、奉拝船を仕立てて参加しました。

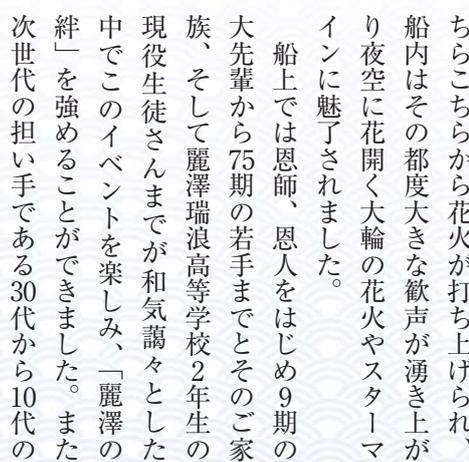
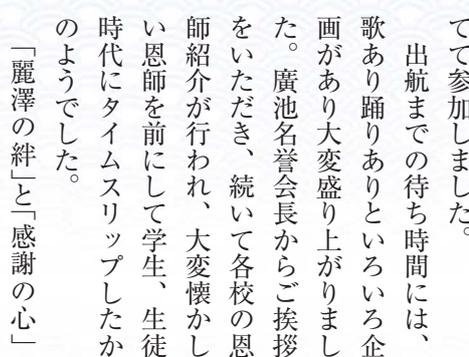
出航までの待ち時間には、歌あり踊りありといろいろな企画があり大変盛り上がりました。廣池名誉会長からご挨拶をいただき、続いて各校の恩師紹介が行われ、大変懐かしい恩師を前にして学生、生徒時代にタイムスリップしたかのようにでした。

「麗澤の絆」と「感謝の心」を胸に竹政麗澤中学・高等学校校長の発声で乾杯をして和やかで賑やかな雰囲気の中、140名を乗せた船は三母校の幟旗を掲げて大川(淀川)を進み始めました。川面を埋め尽くさんばかりのたくさんさんの船が大川を行き交い、その度に互いに「大阪締め」の手締めで挨拶を交わします。川の兩岸や橋の欄干に鈴なりの見物客とも「大阪締め」で挨拶を交わしながら、たくさんさんの奉拝船が進む光景はまさしく日本三大祭の一大パノラマです。

夜の帳に包まれる頃には、兩岸のあちらこちらから花火が打ち上げられ、船内はその都度大きな歓声が湧き上がり夜空に花開く大輪の花火やスターマインに魅了されました。

船上では恩師、恩人をはじめ9期の大先輩から75期の若手までとご家族、そして麗澤瑞浪高等学校2年生の現役生徒さんまでが和気藹々とした中でこのイベントを楽しみ、「麗澤の絆」を強めることができました。また次世代の担い手である30代から10代の若手会員20名が、「おもてなしの心」で参加者にお弁当や飲み物、おしほりを配るお手伝いをしてくれました。

真夏の大阪で、「天神祭船渡御」に「麗澤会奉拝船」を仕立てて老若男女が一つの船に集い多くの会員と知り合いになり、また旧交を温め、「麗澤の絆」を強め、恩師、恩人に「感謝の心」をお伝えすることができました(麗澤会として「船渡御」参加は本年度三回目となり、当会としては今年が最後となります)。



藤岡庸一 (29高)





麗澤中学
ゴルフ部

女子団体の部で全国4連覇!

大会記録更新2位に9打差前人未到の5連覇にアプローチ

GOLF Partner Presents

全国中学校ゴルフ選手権大会

ALL JAPAN Jr. HIGH SCHOOL GOLF CHAMPIONSHIP

旗争奪 第24回 男子団体の部
第9回 女子団体の部

文部科学大臣杯争奪 第60回 個人の部

特別協賛 ゴルフパートナー、セビオ、ヴィクトリア、宇部興産、宇部興産グループ
協賛 カバヤ食品株、山口トヨベツ株、プリチストンスポーツ株、ダンロップスポーツ株、アクシネットジャパンインク、キャロウェイゴルフ株、株本間ゴルフ、ヨネックス株、ヤマハ株、株キリンビバックス
運営 宇部72カントリークラブ
協賛協力 JTB西日本



全国レベルの活躍が続く麗澤中学ゴルフ部（顧問Ⅱ佐坂浩二、有賀望美、中山理恵）がまた一つ、栄光の優勝旗を母校に持ち帰りました。

8月9・10日、山口県の宇部72カントリークラブで行われた「全国中学校ゴルフ選手権大会」の女子団体の部で見事、優勝。4連覇を達成しました。

35度を超える猛暑の中、まず初日はトップでスタートした六車日那乃さん（2年生）が8アンダーの64ストローク、キャプテンの西郷真央さん（3年生）が2アンダーの70ストローク、唯一の1年生の吉澤柚月さんが76ストローク、2年生の佐藤杏莉さんが81ストロークで回り、2位に3打差でトップに立ちまし



GOLF Partner Presents

全国中学校ゴルフ選手権大会

ALL JAPAN Jr. HIGH SCHOOL GOLF CHAMPIONSHIP

文部科学大臣旗争奪 第24回 男子団体の部

文部科学大臣旗争奪 第9回 女子団体の部

学校名	1日目	2日目	合計
帝京大	228	233	466
甲	238	224	463
奈良育英	230	234	464
...

学校名	1日目	2日目	合計
麗澤	210	216	426
多古	226	232	458
佐久長聖	238	241	444
埼玉栄	224	228	452
日大	249	232	481
星陵	265	258	523
奈良育英	253	235	488
東広島市立中央	237	226	463
明德義塾	239	233	472
大分	213	222	435

学校名	1日目	2日目	合計
沖学園



た。2日目は高校ゴルフ部の工藤優海先輩の「3打差なんてないようなもの」という言葉を励みに、みんなを気を引き締めてのスタート。西郷さんが2アンダーの70ストローク、六車さんが72ストローク、佐藤さんが74ストローク、吉澤さんが77ストローク。2位にトータル9打差をつけて優勝することができました。

優勝スコアは426ストロークとなり、2日間のスコアとしては6アンダーで、昨年の1アンダーを上回る大会記録を更新しました。

大会を振り返って佐坂顧問のコメント。

「暑い中、頑張ってくれた生徒に感謝するとともに、応援していただいた皆様に感謝したいと思います。これで4連覇となりましたが、大会4連覇は過去、他校が達成しているのので、来年、5連覇してこちらも大会記録を狙いたいと思います。今後も応援よろしくお願ひします」

日本女子オープンゴルフ
選手権競技

長野未祈さん10位入賞!

プロ抑え3日目まで単独首位 麗高の4人ともに健闘、大きな収穫



写真提供=ゴルフダイジェスト社



女子ゴルフ界のプロとアマチュアのトップ選手が日本一を競い合う「日本女子オープンゴルフ選手権」が9月29日から4日間、栃木県の烏山城カントリークラブで行われ、麗澤高校ゴルフ部の4人が厳しい予選会を勝ち抜き、出場しました。

この大会は、トッププロ選手のメジャー大会に位置づけられ、海外大会の優勝者も出場するハイレベルなトーナメント。2005年大会では宮里藍選手が20歳3カ月の最年少初優勝を飾ったことでも知られています。

独特の緊張感あるこの大会で、4年生(高校1年)の長野未祈^{ながのみり}さんが快進撃。大会3日目を終えて、単独首位に立ち、最終日の結果次第では、アマチュア初優勝、

第49回 日本女子オープンゴルフ Japan Women's Open Golf Championship 2016

6年 9/29(木)・30(金)・10/1(土)・2(日)

主催：公益財団法人 日本ゴルフ協会 共催：NHK
主催：公益財団法人 日本ゴルフ協会 共催：NHK
 実行：栃木県 那須烏山市 宇都宮市 那珂川町 関東ゴルフ連盟 栃木県ゴルフ連盟 朝日新聞社 JGA オープンゴルフ選手会 スポンサー：NEC
 KTI ホールディングス 江崎グリコ株式会社 日本化成株式会社 株式会社



いわて国体千葉代表を

麗澤が独占



6月4日・5日、大栄カントリークラブで国民体育大会千葉県大会（ゴルフ女子）が行われ、工藤優海さんが優勝、長野未祈さんが2位、吉田優利さんも同じく2位となり、千葉県代表選手の3名の枠全てを麗澤で独占しました。なお岩手県で10月4日から6日まで安比高原ゴルフクラブで行われた国体では、千葉県女子チームは8位入賞。長野さんが個人で3位タイとなりました。



史上最年少記録も更新かと注目されました。最終組で迎えた最終ラウンドは、惜しくも調子を崩し、7オーバーバーバー。通算2オーバーの10位タイで終えました。大会後半はマスコミヤギヤラリーに、プレーの一挙手一投足を注目される中、自分のプレーに集中して4日間を戦い抜き、プロ選手を抑えて10位という結果を残す大健闘をした長野さん。順位だけでなく、グリーンを離れる前には必ず振り返って、深々と礼をするなど、競技に対する清々しい姿勢も話題になりました。もう一人、最終ラウンドまで残った、同じ4年生（高校1年）の吉田優利さんは大山志保プロと回り、プロの技術を目の前で見ることが出来ました。残念ながら、6年生（高校3年）の工藤優海さん、5年生（高校2年）の河野杏奈さんは決勝まで行けませんでした。トッププロとの競技経験は大きな収穫となりました。

ご挨拶

黎明期の電子計算機は今ではとても想像できない単純なものでした。当初、アメリカ発の生産管理技術導入に取り組んでいた私は、1970年の日本万国博覧会（大阪万博）で建設工事の工程管理システムの開発を担当し、これを機に独立を決意することになります。7名でのスタート、それが当社の創業でした。

「情報化の創造・提供による社会貢献」をモットーとして、いかなる企業系列にも属さない完全独立系の立場を堅持することにより、業種、技術分野、プラットフォーム等を問わず、常に最新の技術に挑戦しつつ、自由な立場で幅広い分野の開発業務に取り組むことを経営の基本方針としております。

この基本方針に則り、お客様、株主、社員、社会がそれぞれ win-win（双方有益）の関係を築くべく、「四方よし」の理念を掲げ、それぞれの価値を最大化し、全体としての企業価値を高めることにより、安定的成長を実現することを目標としております。

また、こうした成長の原動力となるのは従業員ひとりひとりの情報システム開発に対する情熱と顧客への誠心誠意のサービスであり、そのためには人間力の研鑽が何よりも先行すべきである、との信念に基づいた「人づくり」経営に徹しております。

その当社の信念を端的に表した言葉として、孟子の「天爵を修めて人爵これに従う」の格言が当てはまります。一人ひとりがまず天爵を修めることを究極のテーマとして日々の生活を送ることを奨励しており、それらの考えは当社の経営理念に反映されております。経営理念を浸透させ、価値観を共有した強力な経営資源・企業文化を定着させることが、経営強化に不可欠であり、志・信念・思想がその集団・組織を存続発展させる決定的要素であると考えております。

わが社の独自性は「変わらぬ原理」と「変わる経営」を使い分けていることです。つまり「不易」（どんな時も時流を越えて不変のもの）と「流行」（時代性、人間性に敏感に反応するもの）を識別しております。変えるべきものを変える勇氣と、変えられないものを受け入れる冷静さ、その二つを見分ける能力を持つよう心がけております。



日本システム技術株式会社
代表取締役社長執行役員

平林 武昭

1973年3月	1973年2月	1968年 1970年	1967年11月	1967年10月	1962年4月	1962年3月	1957年3月	1938年4月
日本システム技術株式会社を大阪に設立し代表取締役に就任	日本ビジネスオートメーション株式会社入社	「大阪万国博覧会」会場建設で科学的工程管理に従事	日本ビジネスオートメーション（現・東芝情報システム）株式会社入社	石川島播磨重工業株式会社退社	石川島播磨重工業（現・IHI）株式会社入社	立教大学経済学部経済学科卒業	廣池学園・麗澤高等学校卒業	兵庫県赤穂郡（現・相生市）に生まれる

経営理念

1. 自己に頼るべし、他に頼るべからず
2. 基本を固くする
3. 急ぐべからず
4. 誠意は道を拓く、誠実本位で得た信用は最大の財産
5. 清潔・整頓・堅実を旨とする
6. 人生の目的は品性の完成することにある
7. 感謝報恩の平常心を持つこと

会社概要

- 【設立】1973年3月26日 【資本金】10億7,666万9,578円（2016年3月31日現在）
 【所在地】東京本社 〒108-8288 東京都港区港南二丁目16番2号（太陽生命品川ビル27階）
 TEL(03)6718-2771 / FAX(03)6718-2781
 大阪本社 〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目3番18号（中之島フェスティバルタワー29階）
 TEL(06)4560-1000 / FAX(06)4560-1009
 【従業員数】692名（2016年4月1日現在）
 【事業所】東京、大阪、シンガポール、タイ、中国
 【会社HP】<http://www.jast.jp/>



東京本社

会社沿革

- 1973年 3月 日本システム技術株式会社を設立
 1977年 7月 東京都港区に東京支社を開設
 1982年 9月 シンガポールにシステム開発会社 JAST TECHNIQUES PTE. LTD. を設立し、子会社化
 1994年10月 学校事務支援統合システムパッケージソフト「GAKUEN」シリーズ発売開始
 2000年 3月 タイのシステム開発会社 JASTEC (THAILAND) CO., LTD. の株式を全株取得し、子会社化
 2001年11月 ジャスダック市場に上場
 2003年 2月 東京証券取引所市場第二部に上場
 2006年 8月 文教マーケット向けシステム販売会社 アルファコンピュータ株式会社の全株式を取得し、子会社化
 2010年 8月 診療報酬明細書の自動点検システム「JMICS」サービス開始
 2012年 7月 株式会社新日本ニーズ、SafeNeeds 株式会社及び桂林安信軟件有限公司の3社を株式取得等により子会社化
 2015年 9月 上海嘉峰信息科技有限公司への出資が完了し、子会社化
 2016年 5月 株式会社アイエスアールの株式を取得し、子会社化



大阪本社

業務内容

ソフトウェア

● ビジネスアプリケーション

企業向けビジネスソリューションをはじめ、教育、医療、公共など幅広い分野において、システムの提案からアプリケーションの開発、運用・保守まで一貫したサービスをご提供しております。

開発実績

流通	注文・発注・出荷、店舗情報など
保険	契約管理、損保新積立など
製造	生産管理、物流、発注管理など
銀行	勘定系、情報系、業務支援系 (CRM)、ファクタリングなど
公共	税金、住民情報、図書館、電話料金
証券	株式売買、投資信託、ディーリング
通信	DWH構築、データマイニング
サービス	Webサイト構築など
その他	連結会計・人事・統合OAなど

● エンジニアリングアプリケーション

通信基地局のシステム、携帯電話や映像機器組み込みシステム、列車運行システム、CADを用いた自動車の設計・構造解析及び建造物設計システム、交通管制システムなど、社会性の高いシステムを開発しております。

● イベントアプリケーション

陸上競技などのスポーツ大会や、文化イベントに関するシステム開発、運営、インフラ構築を行っております。

自社ブランドサービス

● パッケージ事業

大学向け事務システムの業界No.1
 パッケージ「GAKUEN」シリーズを中核として、学校経営のトータルソリューションをご提供しております。



● 医療情報サービス

レセプト全件自動点検、ジェネリック通知、各種分析サービス、データヘルス計画及び二次点検業者向けシステム提供など医療関連のビッグデータソリューションをご提供しております。



● 金融機関向け統合パッケージソリューション

金融機関向けCRM/SFAシステムとして2011年より販売を開始し、地銀、信金様からご評価いただいております。



● スマートデバイスアプリケーション

観光アプリケーション「京都禅寺巡り」をはじめとした多くのスマートフォンアプリケーションを開発しております。ビジネス向け開発実績もあり、サーバー側の運用を含めたスマートデバイスにおけるトータルソリューションをご提供しております。



学生の活躍

**第9回アジア武術選手権大会で銀メダル獲得！
第1回ワールドカップでも金メダル獲得！**

荒谷 友碩

外国語学部中国語専攻4年

台湾で行われた第9回アジア武術選手権大会(9月1日～5日、桃園アリーナ)において、日本代表として出場した外国語学部4年の荒谷友碩さん(東日本強化指定選手)が、男子太極剣の部で見事準優勝を果たしました。

荒谷さんは、昨年の世界選手権で太極剣、太極拳とも銀メダルを獲得し(8位以内が出場資格)「第一回套路世界杯」(11月18日～20日、中国福建省)に出場。大会は武術全般を網羅する世界杯で、各国から選手が集い熱戦を繰り広げ、荒谷さんは太極剣で金メダルを獲得、太極拳では3位に入りました。



荒谷友碩さん(後列左から3人目)

「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」に参加決定！

櫻井 翔太

外国語学部国際交流 国際協力専攻2年

文部科学省「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」第5期派遣留学生に、外国語学部国際交流・国際協力専攻2年の櫻井翔太さんが決定しました。

今年9月からフリーピンとインドネシアに1年間留学し、

本学からは、初の同プログラムへの留学生派遣となります。

櫻井さんは「新興国コース」の留学生として、フリーピンに拠点を置くNGO、L.O.O.B

(*)へ派遣されます。留学中は、自身で作成した留学計画に基づき、実際に現地での活動に参加しながら、東南アジアの防災や、災害と関連するタークツーリズム(*)について学びます。

留学直前に櫻井さんは意気込みを次のように語りました。「日本や麗澤大学の代表なん

だという誇りと責任を心に掲げ、留学前も留学中も自分の価値観やモットーとしている「変化」と「ワクワク」、そして、「初志貫徹」を常に持ち続け、どんなことにも挑戦し、有意義な1年を過ごしたいと思えます」

*1 L.O.O.B(ロオプ)は2011年にフリーピン・イロイロ市で有志により発足した団体で、フリーピンを拠点に活動する非営利組織と、これを日本から支える特定非営利活動法人L.O.O.B JAPANがある。国際ワークキャンプや研修事業などを通じて、草の根の青少年活動とコミュニティ開発を実施している。

*2 人類にとっての悲劇や過ちの痕跡を観光資源として活用するツーリズム。国内では、例えば広島島の原爆ドームや東日本大震災の震災遺構の見学ツアーがこれに該当する。

国際交流・国際協力専攻3年生有志3名が ネパールを訪問

9月5日～9日の5日間、外国語学部 国際交流・協力専攻3年の榎山万葉さん・中島有紀さん・中村花梨さんの3名がネパールを訪問し、防災教育等を行いました。

2014年度に同専攻の学生有志がチームを結成し、様々なボランティア活動を行っているなかで、2015年4月25日にネパール大地震が発生。地震直後から、現地やJICA事務所への取材を重ね、「発災時どのような取材をすれば良いか

分らない」「現地のNPO・NGOの防災活動が行き渡って

おらず、日本で行われているような避難訓練などは無いに等しい」という課題が分かりました。

これを受けて、今回の活動テーマを「防災教育」とし、日本で得た知識を共有するのではなく、現地の人々の目線でのように実践すれば良いかを一緒に考える時間を作り、現地の人々の防災意識を高めることを目標としました。

主な活動は、震災による世界遺産の被害状況と復興の経過の視察と、バグマティ県シタパイラ村に位置する小中一貫校「Shree Sitapalia Higher Secondary School」を訪問し、中学生を対象とした防災教育の実施と、麗澤大学内で募った支援物資(筆記用具)を学校へ寄付しました。

中学生への防災教育では、非常持ち出し品として何が必要か、仮想マップを用い「どこに避難すべきか」について考えるワークショップを行い、中学生たちは集中してワークショップに取り組んでいました。

榎山さんたちにとっても、ネパールの中学生が持つ災害へのイメージや対応策を知ることができ、新たな学びと次への支援に役立たせたいとのことでした。



現地の中学生と

ノーベル物理学賞受賞者

「梶田隆章教授 特別講演会」を開催!

廣池千九郎生誕150年および麗澤オープンカレッジ(ROCK)開校10周年を記念して、2015年ノーベル物理学賞受賞者・梶田隆章教授による特別講演会を、9月20日に麗澤大学体育館で「『ニュートリノ』の小さい質量の発見」と題して開催しました。



梶田教授講演の様子

当日はあいにくの雨空となりましたが、大学生や地域の方々、中高の生徒など約1500名の聴講者に対して、梶田教授は「未来を担う若者たち」に向けた熱いメッセージを語られました。梶田教授は長年の研究成果を振り返りつつ「一つの謎が解けても新たな謎が生まれることがある」と語られ、スーパーカミオカンデ等の長年の研究を通して、飽くなき探究心こそが科学の面白さで

あると訴えられ、「未来を担う若者たちは、科学を通して夢やロマンを持ち続けてほしい」と熱いメッセージを送られました。

そしてご自身が若かった頃を振り返られ、「なんとなく物理を研究しようとした進路でしたが、小柴昌俊先生や戸塚洋二先生といった、素晴らしい師との出会いがありました」と話され、会場に向けて「皆さんも人との出会いに感謝し、出会いを大切に」と講演を締めくくられました。

質疑応答では、「果てしない研究に、モチベーションをどのように持ち続けたか?」「未来において人工知能とどう付き合えばよいか」等、若者らしい活発な質問が挙がり、梶田教授は一つひとつ丁寧に答えられました。本講演会は参加者一人ひとりにとって、大変有意義な時間となりました。

廣池千九郎生誕150年記念事業 記者発表会を開催!

麗澤大学では4月21日、本学創立者である廣池千九郎の生誕150年記念事業に関する記者発表会を行いました。

3月の「生誕記念の集い」からの1年間を「廣池千九郎生誕150年記念年」と定め、さまざまな事業を実施するにあたり、これを通じて廣池の業績と思想を再確認するとともに、現代社会が抱える諸問題の「道徳的解決」に取り組んでまいります。

この度の記者発表会で発表された主な

事業は以下の通りです。

- ①道徳の教科化へ向けた学校における道徳教育貢献事業(モラロジー研究所との協働事業)
- ②海外提携校の一つであるベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学と道徳研究センターとの連携および活動支援
- ③リオ・パラリンピック2016に出場した、プロ車いすテニスプレーヤー・国枝慎吾選手への強力な支援



記者発表をされた方々

インド・タゴール国際大学で国際会議を共催!



卒業生との懇親会の様子

8月18日から30日にかけて中山学長一行がインドとタイのバンコクを訪問しました。

訪印の最大の目的は、本学とタゴール国際大学との共催で、2日間に行われる「タゴール訪日100周年」と本学の「創立者廣池千九郎生誕150周年」を記念し、両国の学術・文化交流を図るために国際会議を開催することです。他にもたくさんさんのイベントがあり、充実したスケジュールとなりました。以下、その報告です。

1. インド文化関係評議会(ICCR)との連携を協議(8月19日)
2. タゴール国際大学での国際会議(8月26日・27日)
3. 現地の新報(The Telegraph)に開催告知記事が掲載(8月22日)
- (2)国際会議予稿集にモジ首相や西ベトナム州知事らが寄稿
- バンコクでの卒業生との懇親会(8月28日)

学生の活躍

高校空手道部 関東大会 千葉県大会で活躍！

6月10日から12日にかけて神奈川県平塚市で行われた関東大会において、女子団体組手で3回戦まで進出し、ベスト16となりました。女子団体組手において関東大会でベスト16入りするのは、実に26年ぶりのことです。

その直後の6月16日から千葉県浦安市で行われたインターハイ予選千葉県大会では、個人組手で男女キャプテンとともに準決勝まで進み、あと1勝でインターハイ出場というところまで奮闘しましたが、両選手とも3位となりました。また、女子団体組手も決勝戦で拓大紅陵高校に敗退して、結果は準優勝でしたが、最後までよく頑張りました。生徒たちが最後までやりきることができたのも、保護者の方をはじめ、多くの方に応援していただいたおかげです。ありがとうございました。

(高校空手道部顧問 西野徹)



高校ラグビー部 6年宗像さん 関東代表選手として、日本一に！

さる7月28日(木)～31日(日)、長野県上田市菅平高原で開催された第6回全国高等学校女子合同チームラグビーフットボール大会において、本校ラグビー部6年の宗像さんが関東地区代表選手として参加をしました。予選リーグでは、四国地区代表に60対0、東海地区代表に25対0と順調にリーグ1位で勝ち上がり、決勝リーグにおいては、近畿地区代表に5対0、決勝では九州地区代表に10対7と勝利することができ、見事

「日本一」になりました。関東地区代表としては、3年ぶり4回目の「日本一」でした。宗像さんは、関東全域から選ばれた関東代表選手として全試合に出場し活躍してくれました。また、11月13日・14日にタイのパンコクで開催された、パンコク国際7人制大会にも出場しました。今後の彼女のますますの活躍に期待していきたいと思えます。

(中・高ラグビー部顧問 松倉功和)



前列右端、プラカードを持っているのが宗像さん

目標はテコンドーでオリンピック出場！

寺田 怜矢

麗澤高校1年

私がテコンドーを始めたきっかけは、幼いころにたくさんの習い事を体験した際、唯一楽しめたということと、父が習っていたからです。テコンドーに出会うことができたのは私が小学2年生の時、本格的に選手になろうと決めたのは小学6年生の時でした。

私の今年度の大会成績は、全日本ジュニア選手権大会で準優勝することができ、全日本の強化指定選手に選ばれました。今は、1月にあるシニアの全日本選手権で入賞できるように日々練習に取り組んでいます。

私がテコンドーをやっている楽しいことは、日本全国の選手、また世界中の選手と触れ合う機会がとても多いことです。逆に辛いことは、練習を一生懸命に行ったのに大会でよい成績が残せなかったときです。

私がテコンドーを通じて学んだことは、礼儀作法の大切さです。テコンドーは韓国発祥の武道なので礼儀をととても大切にします。また、同年代の選手はもちろん、先輩や後輩の選手・師範やコーチの方と取るコミュニケーションを普段の学校生活においても実践することができました。技術だけでなく普段の生活で活かせることを学べるのが武道のよいところだと思います。

私の将来の夢は、オリンピック出場です。そのために今、私は目の前にある壁や小さな目標を一つ一つクリアしていこうと努力しています。この努力をむだにしないように体調管理をしっかりと行い、結果に結び付けていきたいです。また、ここまでテコンドーを続けることができるのは多くの人の支えがあるからだと思います。その方たちに対する感謝を忘れずに競技を続けていきたいです。



関西研修旅行の意義

本校では、総合学習の時間を「自分プロジェクト」と呼び、中学2年次には日本のルーツをたどる「関西研修」に出かけています。今回は、その「関西研修」についてご紹介します。

今年度は、10月26日から29日にかけて2年生約140名が参加しました。

「日本の国と民族のルーツを探り、その素晴らしさを体現しよう」をテーマに、伊勢の神宮（内宮・外宮）の参拝や橿原神宮の正式参拝をはじめ、神武天皇陵、薬師寺、下鴨神社、京都御所などをめぐりました。

事前研修では、『古事記』に記された国生みの神話からひととき、日本の建国の歴史を学んできました。また、薬師寺の小林澤應様（49期）をお招きし、奈良時代の文化や研修の意味を話していただきました。研修旅行の訪問先でも、伊勢では山中一孝様（44期）より神話の時代から続く神宮の歴史や祈りについてお話しいただき、翌朝は内宮の早朝参拝へと案内いただきました。奈良では、井上裕史様（32期）をはじめとする大和橿原モラルジョー事務所の皆様や近畿

地方の先輩方からお団子やお土産等の差し入れをいただくなど、各地で麗澤の強いつながりを感じさせていただきました。

麗澤中学では、この関西研修での学びを土台として、3年次に英国研修へ行

き、日英の比較文化研究を行います。異文化に触れ、自国の歴史や文化を見つめ直すことで、麗澤教育を根幹とした「国際的日本人」を育ててまいります。（2学年主任 高橋周作）



神宮会館にて44期の山中様より



神武天皇陵前にて32期の井上様より



卒業生の協力を得て「希望職業別講演会」を開催

今年度も10月の第1週の6日（木）、母校に卒業生をお迎えし、高校1年生に向けた「希望職業別講演会」を実施しました。

ここ数年は前半に分科会を行い、後半は基調講演を行っています。分科会では13名の講師をお迎えしました。実際に仕事で使っている道具やユニホームを持ってきて具体的な説明をしてくださる方、ご自分の仕事の成果を見せてくださる方、付箋を使って生徒自身に仕事のイメージを膨らませてくださった方など、さまざまな工夫でわかりやすくお話をしてくださいました。基調講演には46期の松田康博氏から「天職って何だろう？—国際関係に関わる仕事と進路—」と題し、高校時代、大学時代の経験をふまえた天職についてのお話をいただきました。生徒たちからは「海外の話が聞けてとても刺激的だった」「麗澤の卒業生はみんな後輩思いなので感激した」「なりたかった」などの感想が寄せられました。

講師の皆様方、ご多用中にも



かわかわらずご協力いただき、本当にありがとうございます。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

来年度も引き続き母校支援の一環として、職業講演会を計画しております。各界で活躍する卒業生の話が在校生たちの大きく、素晴らしい刺激となります。自薦他薦を問いませんので、ご協力いただける方をぜひご紹介ください。連絡は「れいこう麗澤会」事務局にお願いいたします。（れいこう麗澤会 大野 佐知子）

割近い打率を残し、チームを牽引^{けんいん}、投げてはエース伊藤君がアンダーローから繰り出される多彩な球で打者を翻弄し、チームの勝利に貢献しました。来年度の春・夏に向けての課題も見つかりました。そこをこの冬に鍛えて、来年こそは創部初の甲子園出場を掴み取りたいと頑張っています。

主将からの一言

今のチーム状況は、東海大会で負けた悔しさを胸に練習しています。体重増加や打撃向上など、勝つための具体的な取り組みを決め、各自の課題も意識しながら取り組んでいます。全員が寮生活をしていることで、24時間仲間と高めあいながら生活できていることが強みです。甲子園出場を目標に、寮生活という特徴を最大限に生かし、仲間と切磋琢磨^{せつさくま}しながら毎日を過ごしています。
(主将 伊藤若馬)



陸上部の近況



現在、男子30人、女子18人の合計48人という大所帯で活動しています。これまで東海大会に出場したり県大会に入賞したりと良い成果を収めてきましたが、今回、県内でもレベルが高い東濃地区で男女アベック優勝を、創部以来初めて果たすことができました。現在の陸上部の活動は、他の部活動と同様に基本的には火、木、金、土の18時までです。月、水は学習優先日になっています。土曜日以外の平日で練



習時間は2時間もとれません。強豪校とは比較にならない練習量ですが、環境や条件を言い訳にはせず、勉強も部活も両立させて結果を残そうと頑張っています。限られた時間をより有効にするために、工夫をするようになりました。歩いてグラウンドに来ていた生徒も5分でも早く来たならその分練習ができるので、今では駆け足でグラウンドにきています。また、学校行事や月、水の学習優先日でも8時間目終了後に

グラウンドに走ってきて、30分から40分の筋力トレーニングや自主練習をする部員も増えました。普段の生活のすべてが、陸上の練習につながっている意識で自身を高めています。合宿でもお互いに声を掛けあい切磋琢磨しています。今回の東濃地区での男女アベック優勝に満足せず、次は県大会でも優勝できるように頑張ります。

主将からの一言

陸上部は初心者が多いですが、先生方のご指導のおかげで一人ひとりが向上心を持って、良い雰囲気でも活動することができています。個人の目標はインターハイ出場、主将としては仲間が互いを全力で応援し、全員で高め合っているチームにすることです。また、強化指定部として、部活だけでなく日常生活も模範となって学校を盛り上げるとともに、皆から応援される部にします。麗澤瑞浪での陸上を通じて人間性を高め、先輩方に負けないように頑張ります。
(主将 長谷川傑)

陸上部顧問の一言

顧問 安井真吾先生

夕暮れの第2グラウンド。「ファイト!」の聲が飛び交う。今も昔も変わらない光景。陸上競技についても目標である。試合に行けば、ひとつでも次のラウンドへ。高校生として最大の目標は全国インターハイ。陸上は出場権を得る東海大会6位がなかなか大きな壁である。昨年、県レベルの大会で男子が初めてリレーで優勝し、総合でも3位になった。今年は、県内ではレベルが高い東濃地区新人戦で、男女ともアベック総合優勝した。これは、これまで顧問として関わってくださった多くの先方、見守ってくださる保護者の皆様、卒業後も応援してくれているOBOGの方々、そういった多くの力の積み重ねが今日の活躍に繋がっているのは間違いない。今の部員は活気がある。目標を明確に持ち意識が高い。食欲に吸収しようとする姿勢がある。この勢いでさらなる高みを目指したい。

「また会いたい」そう思えるつながりを。

れいだい

第4回大場ゼミ同窓会
OB・OG BBQ大会



平成28年7月2日(土)、毎年恒例となった大場ゼミのOB・OG会を、千葉県柏市の水代果樹園BBQ場で開催。今年は大場裕之先生をはじめ、ゼミの2期12期生26名とその家族、あわせて約50名が集まり、盛大に開催しました。今年には特に初参加の方が多く、遠くは三重県や長野県からも参加がありました。小さな子供たち同士もよく遊び、新しい楽しみも生まれました。

また今年には6期〜8期生が封印したタイムカプセル(スケッチブックに書いた「10年後の私へ」も公開され、大学生活を懐かしむ様子が見られました。

高木 宏和(63期)

れいじ

18期谷川記念館で同窓会



18期会は10月12日から2泊3日で、谷川記念館において第39回同窓会を開催しました。参加者は夫婦2組、ご子息1名を加えて21名の参加でした。今回は「傘寿記念同窓会」として企画し、総会では今後の18期会活動について意見交換をしました。また、6月の「感謝の集い」麗澤会記念会食」に15名が参加したことに注目し、来年以降の開催を毎年6月第1日曜日「母校・麗澤会記念会食」に決定。さらに4年後は「東京オリピック観戦同窓会」をめざすことになりました。

翌日は、谷川開設の概要について学習し、麗澤館を見学。谷川開設に心血を注がれた廣池博士のご生活に触れ、全員寸時沈黙しました。我々18期

生は廣池博士の谷川開設と時を同じくしてこの世に生を受けたことへの感慨ひとしおでした。大穴記念館見学後、谷川岳観光へ向かい、ロープウェイから初秋の景観を眺め、山頂で昼食をとりました。

昭和27年に麗澤の門をくぐり、間もなく経験した谷川研修旅行で18期会の絆が芽生え、3年間の学園生活、そして毎年の同窓会を通して年々その絆は強められてきました。今回の「傘寿記念同窓会」が谷川の地で開催できたのも自然の流れと感じています。最終日は、野々村氏を座長に座談会を行い、各自感想を述べました。廣池博士の「霊肉併濟」の精神が今に流れている谷川の姿に触れ、精神伝統への感謝の言葉で結ばれて散会となりました。

記 中島敏夫

みずい

42期(瑞浪16期)
長島温泉に集う

10月15日に三重県の長島温泉にて、4年に1度の同窓会を開催しました。ここ数年は母校の50周年記念同窓会や卒業式への招待なども重なって2年に1度くらいの頻度で集まる機会があり、幹事としては仕事



との両立で結構忙しい思いもしますが、今回も40人以上の同窓生が集まってくれたことに感謝したいです。

実際の細かな準備などは三重県の伊藤道治君らが中心になってくれましたが、初めて参加してくれた人もいたので、懐かしさ倍増でした。

今回はいよいよ還暦同窓会。東京オリピック・パラリンピックの年に開催ですから、大勢で盛大に行いましょう。

記 蟹井克也

※地区・ゾーン・グループ・麗澤会オーブンゴルフ大会は次号に掲載します

阿蘇神社 特定目的支援金の 御礼

平成28年4月14日に熊本県と大分県で相次いで発生した熊本地震により日本三大楼門の一つで重要文化財の「楼門」と拝殿が全壊した熊本県阿蘇市の阿蘇神社（権禰宜芦口恭介様は39大・イギリス語学科出身）の被災支援として麗澤会では特定目的支援金の募集を実施いたしましたところ、11月21日現在で皆様から40万609円のご支援を頂戴いたしました。このご報告をもって支援金の募集を締め切らせていただきます。頂戴いたしましたご厚志は、麗澤会から阿蘇神社芹口様にお届けいたします。

多大なご協力を賜り御礼申し上げます。ありがとうございました。

おたより ・ 住所変更

住所変更

れいだい

▼西 裕康 (高大31)

〒710-0831 岡山県倉敷市田ノ上1057-7

▼Connor Rie (47)

(旧姓 小池里枝)

57 Investigator Street,

Red Hill, ACT 2603

AUSTRALIA

れいこ

▼関口 雅貴 (33)

〒462-0809 愛知県名古屋

屋市北区上飯田西町1丁目27番地

の1 幸村ビル601

▼渡辺 美喜子 (37)

(旧姓 西村)

9640 Withering Pine St.

Las Vegas Nevada 89123

USA

▼竹添 雅雄 (49)

〒201-0013 東京都柏江

市元和泉1-16-11

フォンテーヌ2202

▼秦地 宏伸 (58)

〒770-8078 徳島県徳島

市八万町橋本217-18

▼島山 文 (61)

〒154-0023 東京都世田

谷区若林4-31-7 401号

▼島田 百愛 (66) (旧姓 金田)

〒655-0046 兵庫県神

戸市垂水区舞子台8-6-6-602

みずこ

▼明山 昭子 (22) (旧姓 木庭)

〒800-0025 福岡県北九

州市門司区柳町4丁目12の41

おたより

れいだい

▼三浦 洋嗣 (高大34)

〒072-0041 北海道美唄

市進徳町東

まだ現役で頑張って仕事して

ます。今年10月に孫6名となりま

した。

嬉しいことです。全員集合の時

はそれは凄いですよ。将来の夢は

孫全員麗澤会員かな。妻は違う

ようですが。北海道の麗澤会は

田中支部長、皆さん素晴らしい活

動で輪が広がっています。34期同

期会参加出来ず、すいません。御

健康祈ります。

▼皆川 佳也 (57)

現在、アメリカ合衆国ニュー

ヨーク州の教育機関にて働いてい

ます。アメリカのニューヨーク大

学院にてInternational Education

の修士号を取得し、現在も仕事の

かたわら現地にて異文化交流の研

修に参加し、研究しています。会

報を拝読し、母校の活動や近況を

確認でき、うれしく思っております。

今後の麗澤グループの活躍を

お祈り申し上げます。

在学中はゴルフ部に所属し、田

中駿平先生には大変お世話になり

ました。先生には部活動を通じて、

多くを教えてください、現在でも感謝

しております。ますますの先生の

ご活躍とご健康をお祈り申し上げ

ます。本部の皆様のご報告のご編

集誠に感謝しております。

れいこ

▼原田 高雄 (32)

〒225-0002 神奈川県横

浜市青葉区美しが丘1-13-6

たまプラーザ 2-1-1-306

田島君、浅野君を継いで、7月

に期別代表の指名を受けました。

麗高卒業後、今になってすごく母

校愛に目覚めた気がします。7月

9-11日の札幌同窓会は31名の参

加で大いに盛り上がり、高校時代の

のエピソードにも花が咲きました。

麗澤教育の素晴らしさを再認

識したところです。2年後の卒業
50周年に向けて、32期大同窓会を
企画しますので御期待ください。

みずこ

阿波踊り、頑張っています

▼住友 陽 (9定)

瑞高定時制卒業以来、地元の家

社入社、40年勤務致しました。今

現在、徳島県伝統400年の阿波

踊り連隊長として、日々頑張っ

ています。連員の育成・指導に、県

内外、阿波踊りを通し日本の伝統

を守り続けたいです。

(〒774-0021 徳島県阿

南市津乃峰町東分147)

単身赴任です

▼戸田 雅也 (15)

名古屋に引っ越して落ち着いた

と思ったら、大阪へ単身赴任です。

半独身生活を楽しんでます。

(〒456-0034 愛知県名

古屋市熱田区伝馬1の2の9の

306)

引っ越しました

▼村雲 良佳 (18)

(旧姓 松岡)

7月に引っ越しました。今度こ

そ終の棲家になると思います。

(〒154-0023 東京都世

田谷区若林1の20の8の801)



御協力有難うございます



平成28年10月31日までに次の方々から協礼金ならびに寄付金をいただきました。篤く御礼申し上げます。
(敬称略・カッコ内数字は通期)

麗澤会協礼金

野田 茂(9専)、高橋 孝典(15短)、森光 義文(18高)、加藤 法康(19高)、河村 亘(19高短)、田中 駿平(19高短)、中川 千恵子(19高)、有吉 正年(20高短)、淡島 成介(20短)、五百城 啓太郎(20高)、石渡 英雄(20高短)、小島 佳子(20短)、清水 省一(20高)、高岡 忠臣(20高)、森一馬(20高)、大野 淑音(21高)、岡田 智子(21高)、川嶋 忠男(21大)、篠田 静江(21高)、高見 脩吉(21短)、谷川 誠士(21高)、新田 紘輔(21高)、平川 種徳(21高大)、藤林 美智子(21高)、三上 晴久(21大)、武藤 昌夫(21高大)、横田 義信(21高大)、山崎 仔志子(21高)、吉田 豊子(21高)、渡辺 愛子(21高)、有阪 敏(22大)、川窪 靖子(22高)、佐坂 徳(22高)、澤村 和男(22高大)、武藤 成生(22高)、目崎 八重子(22高)、森川 百合子(22高)、山岡 慶次(22高)、横田 武子(22高)、岩畔 勝子(23高)、江間 良子

(23高)、杉山 博子(23高)、中根 拓代(23高)、新田 賢治(23高)、野口 佐智子(23高)、細川 菁子(23高)、堀内 勝美(23高)、山田 和子(23高)、山田 寛二(23高)、山本 幾雄(23高)、有阪 ひで(24高大)、牛田 道雄(24高)、小野 剛(24高)、会田 璋子(24高)、梶原 一浩(24高大)、加藤 栄一郎(24高)、鈴木 一朗(24大)、田中 新一郎(24高大)、田中 宏子(24大)、谷澤 淳子(24大)、則竹 繁雄(24高大)、早川 実(24高)、三谷川 颯子(24大)、山田 等(24高)、淡島 成高(25高大)、石渡 敏子(25高)、宇佐美 洋子(25高)、櫻井 登志夫(25高大)、讚井 たつ子(25高大)、成瀬 恭子(25高)、光恒 志津子(25高)、宮本 美恵子(25高)、森 雅子(25高)、和倉 健二(25大)、池辺 祐三子(26高)、熊谷 和重(26高)、武藤 梅子(26高)、上野 克行(27高大)、大谷 誠之(27大)、大橋 正光(27瑞)、奥本章夫(27瑞)、國枝 邦洋(27瑞)、田中 拓治(27高)、田中美智子(27高)、花村 佳子(27高)、町田 芳子(27高)、浅野 真澄(28高)、浅若 みえ子(28高)、天羽 一水(28高)、五百城 常生(28高)、池田 晴美(28高)、伊藤 姫美代(28高)、

伊藤 正彦(28瑞)、伊藤 正廣(28瑞)、上野 實(28高)、梅村 照子(28高)、大川 徳(28瑞)、大参 正人(28瑞)、梶原 恵子(28高)、酒井 孝之(28大)、佐藤 啓子(28高)、芝田 千津子(28高)、下林 永徳(28瑞)、杉本 憲司(28大)、鈴木 勝彦(28瑞)、鈴木 進(28瑞)、関山 ひろ子(28高)、妹尾 一恵(28高)、竹口 正進(28高)、田中 勉(28高大)、鶴田 陽子(28高)、中山 とし子(28高)、野崎 誠四郎(28瑞)、早坂 和世(28大)、風澤 俊夫(28高29大)、福永 靖邦(28瑞)、丸橋 充子(28高)、御代川 克之(28高大)、松島 澄子(28高)、武藤 郷子(28高)、八木 正平(28高)、安江 和人(28瑞)、山岡 浜三郎(28高)、吉原 俊代(28高)、若尾 三郎(28高)、鷲津 徳三(28高大)、藏城 豊子(29高)、小林 恒夫(29瑞大)、長井 孝介(29高)、野出 明敬(29大)、三渡 公代(29高)、村上 誠(29瑞大)、山本 享(29瑞)、山本 正治(29高)、植田 和子(30高32大)、木股 初子(30瑞)、永安 幸子(30高)、藤田 みき(30高)、横山 しず子(31高)、平山 孝子(32高)、門脇 本一(33瑞)、濱井 幸枝(33高)、福本 宜男(33高)、大場 康子(34瑞)、村田

三郎(34高)、中野 泰子(35瑞)、野田 照代(35瑞)、發坂 卓雄(35高大)、石田 徳太郎(36高)、河田 純治(36高)、田岡 啓子(36大)、中田 啓子(36瑞)、宮本 雅由(36高)、京極 亜津子(37高大)、高木 治代(37瑞)、則藤 真木子(37高)、福本 はつ(37高)、岡田 喜(38高)、加藤 義彦(38高)、武久 鎮顯(38大)、加藤 智教(40瑞)、川島 正敬(42瑞大)、小金井 かほる(42高)、生田 泰宏(43高)、谷口 寿子(43瑞)、玉井 和代(43高)、横田 純代(43高)、後藤 泰秀(45瑞)、鈴木 貴子(45高)、高尾 英美(46瑞大)、新居 直美(46高)、窄口 美子(49瑞)、小石 晶子(50大)、石井 万美子(53高)、石井 千香子(55高大56大58院)、新井 誠(57瑞)、大谷 祥寛(57瑞大)、神田 平(59瑞)、鈴木 智巳(61大)、尾島 洋平(62大)、良永 隆光(69高)、大藪 奉寛(74瑞)、米谷 豊先生 傘寿祝賀会一同、京都府支部 匿名3名

奨学基金

高見 脩吉(21短)、山岡 浜三郎(28高)、門脇 本一(33瑞)、濱井 幸枝(33高)、發坂 卓雄(35高大)、河田 純治(36高)、中田 啓子(36瑞)、田中 秀人(37高大)、則藤 真木子(37高)、池田 香(38瑞大)、武久 鎮顯(38大)、三上 節子(58院)

スポーツ基金

高見 脩吉(21短)、山岡 浜三郎(28高)、内田 良子(31高)、原田

高雄(32高)、濱井 幸枝(33高)、發坂 卓雄(35高大)、則藤 真木子(37高)、池田 香(38瑞大)、加藤 義彦(38高)、武久 鎮顯(38大)、濱口 隆司(47高)、大藪 奉寛(74瑞)

麗澤・箱根駅伝(麗大陸上競技部)

高見 脩吉(21短)、山岡 浜三郎(28高)、内田 良子(31高)、門脇 本一(33瑞)、濱井 幸枝(33高)、高橋 よね子(34瑞)、發坂 卓雄(35高大)、中田 啓子(36瑞)、池田 香(38瑞大)、加藤 義彦(38高)、武久 鎮顯(38大)、猪飼 孝男(41瑞)、飯田 秀志(42瑞)、前田 教博(68大)

被災支援金

高見 脩吉(21短)、花村 佳子(27高)、伊藤 姫美代(28高)、山岡 浜三郎(28高)、永安 幸子(30高)、内田 良子(31高)、門脇 本一(33瑞)、濱井 幸枝(33高)、大場 康子(34瑞)、高橋 よね子(34瑞)、酒井 篤子(35高)、發坂 卓雄(35高大)、河田 純治(36高)、中田 啓子(36瑞)、松本 卓三(36高)、山下 妙子(36瑞大)、京極 亜津子(37高大)、田中 秀人(37高大)、則藤 真木子(37高)、武久 鎮顯(38大)、雲丹 亀史洋(39瑞)、森 和代(40瑞)、松本 百代(41高)、朝海 利江(42瑞)、玉井 和代(43高)、新居 直美(46高)、三浦 一壽(56高大)、玉井 智子(66大)、石黒 里佳(72高)、大藪 奉寛(74瑞)、西智 弘(76瑞)、神奈川麗澤会、千葉・東京・茨城麗澤会

第一回麗澤会新社会人歓迎会

麗澤3母校の先輩と後輩が笑顔でつながりました！



今から遡ること72年前（昭和19年）の9月24日に麗澤会が発足した日（麗澤会の日）にちなんで、平成28年9月24日（土）に麗澤大学「ひいらぎ」にて、60代（30期代）から22歳（76期）の新社会人まで幅広い世代にわたり80名の参加者が集い、笑顔の和と熱気〴〵に溢れる歓迎会が開催されました。初めての企画であり至らない点も多々ありましたが、おかげさまで参加者からは「先輩のスピーチが参考になった」「いろいろな方とじっくりと話せてよかった」「ビンゴゲーム盛り上がりがあった」「普段交流しない方々と知り合えた」等、ご好評いただき、「来年も参加したい」という声をたくさん頂戴しました。

今年の経験を活かして来年度は、平成29年9月23日（土）に「より楽しく役立つ、3母校大同窓会」として開催いたします。新年の手



帳・カレンダーにご記入の上、同期前後の期の方々とぜひ一緒にご参加ください。また、「こんなことやったら面白いのに」などアイデアをお持ちの方や企画好きの方を募集しています。気軽に行方委員長の木津（メール：veh00621@nifty.ne.jp、電話：090-3216-1279）までご連絡ください。

最後になりましたが、景品提供（別表ご参照）にご協力いただいた方々、開催準備にご協力いただいた方々、本当にありがとうございます。

ビンゴゲーム景品、協賛金のご協力をいただいた方（順不同）

株式会社ザ・マンハッタン様
武田一行様（66大）
スイートルーム宿泊券
マルエスメタル株式会社様
佐野友亮様（68高）
協賛金

株式会社八天堂様
森光孝雅様（45高）
クリームパンセット
株式会社TCP様

小泉喜孝様（40高）
ラクーア利用券等

スターバックスコヒージャパン株式会社様
田中幹人様（45高）
スタバカード、カップ等

米屋株式会社様
諸岡信保様（57高）
羊羹セット

有限会社三浦マーク様
三浦順治様（33高）
勝負名刺作成券

株式会社ヘイワ堂様
土田様（56高）
空気清浄器

麗澤会東京都支部前支部長
中邑進様他（32瑞）
協賛金

有限会社ファイブプランニング様
山本龍太郎様（55瑞大）
餃子、Pizza、エステ券

中村重男商店様
中村友一様（69高）
財布、小銭入れ

麗澤会本部
小柴孝之（45高）

デイズニースーペアチケット、自転車、フジテレビグッズ



麗澤会 関西大会のお知らせ

日時 平成29年10月14日（土曜日）午前11時受付

集合 琵琶湖大津港 〒520-0047 滋賀県大津市浜大津 5 - 1 - 1

会場 琵琶湖クルーズ船「ビアンカ」

平成29年10月に滋賀県において麗澤会関西大会を開催します。

クルーズ船「ビアンカ」で琵琶湖の湖上を楽しみながら、懐かしいひと時を楽しく語り、旧交を温めたいと思います。皆様のご参加を心からお待ちいたしております。

（詳しい案内と申込書は、平成29年7月に送らせていただきます。）

BIANCA

CHARTER  CRUISE



【主催】麗澤会関西ゾーン 【大会主幹】麗澤会滋賀県支部

【お問合せ・連絡先】reitaku.shiga@gmail.com ☎090-3278-9222（滋賀県支部長：藤居昌幹）

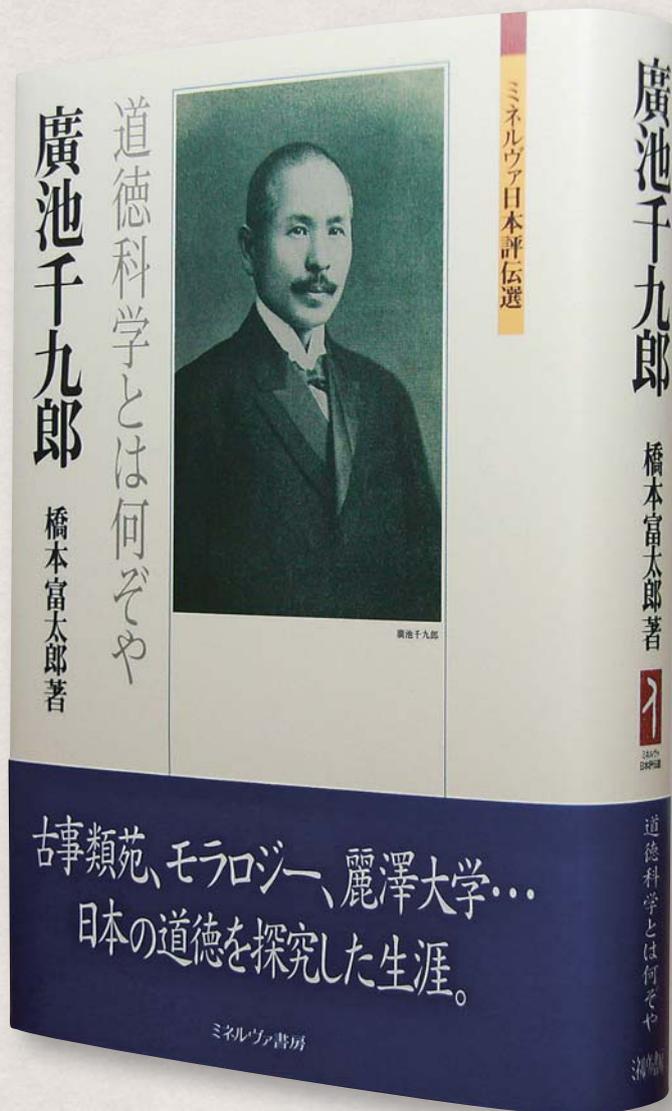
ミネルヴァ日本評伝選

廣池千九郎

橋本富太郎 著

—— 道德科学とは何ぞや

四六判上製カバー 498頁 本体3500円(税別)



麗澤大学外国語学部助教 (57高大)
橋本富太郎 (はしもと・とみたらう)

昭和49年(1974年)、愛知県生まれ。麗澤高校、麗澤大学を経て、國學院大學大学院神道学専攻博士課程後期修了。博士(神道学)。公益財団法人モラロジー研究所道德科学研究センター研究員。麗澤大学時代は弓道部主将を務めた。著書に『皇室典範』(共著、角川学芸出版)、『大学生のための道德教科書』(共著、麗澤大学出版会)など多数。

麗澤の創立者の評伝が全国書店で 生誕150年の記念にぜひお求めください

『道德科学の論文』でモラロジーを提唱し、麗澤大学を設立する一方、『古事類苑』への貢献や東洋法制史の開拓でも知られる廣池千九郎。近年、道德教育への注目により再評価される、その道德観はどのように形づくられたのか——。麗澤に学び、麗澤で教鞭をとる橋本富太郎氏が描く、傑作評伝。選び抜かれた日本史上の人物を評する「ミネルヴァ日本評伝選」からついに発刊。

【お問い合わせ・ご注文】 ミネルヴァ書房 〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1番地
☎ 075-581-0296 FAX 075-581-0589 Mail eigyo@minervashobo.co.jp 宅配可(手数料@500円+税) / 価格税別